



# 学生募集要項 推薦特別入試

平成 **24** 年度

音楽学部 音楽科

作曲専攻作曲コース

作曲専攻音楽学コース

声楽専攻

器楽専攻弦楽器コース

器楽専攻管打楽器コース



## 愛知県立芸術大学

Aichi Prefectural University of Fine Arts and Music

## 愛知県立芸術大学アドミッション・ポリシー

愛知県立芸術大学は、個性的で魅力ある大学として、また愛知が生んだ芸術文化の拠点として国際的に開かれた芸術文化の核となることを目指し、次の三つの理念をかかげます。

- 1) 学部から大学院までの一貫した教育研究体制をとることにより、芸術家、研究者、教育者など芸術文化にたずさわる優れた人材の育成を目指します。
- 2) 広い視野を持った高度な芸術教育を通して、国際的な芸術文化の創造の核となることを目指します。
- 3) 教育・産業・生活文化など様々な分野で本学の持つ芸術資源を有効に活用し、地域社会と連携して、芸術文化の発展に貢献することを目指します。

その理念と目的に適う人材の育成のために、それぞれの専門分野にふさわしい資質をもつ次のような学生を求めています。

- 芸術を創作・研究する強い意志と感性を持ち、実技の基礎能力がある人。
- 美術界、音楽界、芸術教育界を将来担うべく意欲旺盛な人。
- 広い視野と多様な価値観を持ち、自ら積極的に学ぶことのできる人。

### ●音楽学部のアドミッション・ポリシー

豊かな感性と際立った個性、理論と技術の良好なバランス等をそなえ、音楽表現意欲が旺盛な学生を求めています。又、将来、この地域はもとより、国際的視野にたった幅広い芸術・研究活動の展開を目指すような、高邁且つ明確な目的意識と強い気概をもった学生を望んでいます。磨かれた感性、整えられた知識、練られた技術が感動を生み出します。

# 推薦特別入試募集要項

## 1 趣旨及び推薦特別入試で求める人物像

本学で学ぶことを志望する意志が強く、優秀で意欲的な人材の発掘を目的に実施します。求める人物像は以下のとおりです。

- ・音楽に対する情熱と専門分野における基礎能力を持ち、研究する意思が強い人。
- ・自ら学び、自ら考え、より良く問題を解決するためにチャレンジ精神旺盛な人。
- ・創造力、探究心、発想力が豊かで行動力のある人。
- ・本学への強い入学希望を持ち、合格した場合、入学を確約できる人。

## 2 募集人員

学部	学 科	専攻 (コース)	入学定員	募集人員	備 考	
音楽学部	音楽科	作曲	作曲	8	若干名	入学定員 8 名の中に含まれます。
			音楽学	2	若干名	入学定員 2 名の中に含まれます。
		声 楽		30	若干名	入学定員 30 名の中に含まれます。 ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、テノール、バリトン、バス
		器 楽	弦楽器	15	若干名	入学定員 15 名の中に含まれます。 ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ
			管打楽器	20	若干名	入学定員 20 名の中に含まれます。 フルート、オーボエ、クラリネット、バスーン(ファゴット)、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、バストロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、打楽器

## 3 出願資格

本学に出願できる者は、次の(1)、(2)、(3)、(4)の全てに該当する者

- (1) 次のいずれかに該当する者
  - ① 高等学校又は中等教育学校を平成 24 年 3 月卒業見込みの者
  - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成 24 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者
- (3) 出身学校長が責任をもって推薦できる者  
各学校において推薦できる人数は、作曲専攻(作曲)、作曲専攻(音楽学)、声楽専攻、器楽専攻(弦楽器)、器楽専攻(管打楽器)、それぞれの専攻(コース)につき 1 名までとします
- (4) 本学他学部および他の国公立大学の推薦入試に出願していない者

## 4 出願期間

平成 23 年 11 月 1 日 (火) から 11 月 7 日 (月) まで  
(最終日の午後 5 時までに郵便で必着とします。)

## 5 出願方法

- (1) 出願書類全てを同封し、「推薦特別入試(音楽)入学願書在中」と朱書き書留郵便で郵送してください。

**普通郵便及び直接持参は受理しません。**

作曲専攻(作曲)志願者の提出作品は、別便にて「推薦特別入試(音楽)作曲提出作品在中」と朱書き書留郵便で郵送してください。

- (2) 出願期間を経過したものは受理しません。郵便事情を考慮して早めに郵送すること。

## 6 出願書類等

○印は、募集要項に綴込みの本学所定様式です。

書 類 等		摘 要
入学願書	○	必要事項を記入してください。
受験票	○	所定の欄に必要事項を記入してください。
受験者写真票	○	出願前3ヶ月以内に撮影した写真(正面・上半身・脱帽・縦4cm×横3cm)を所定の位置に貼り付けてください。写真票と受験票は同一の写真としてください。
入学検定料 17,000円	○	1 入学検定料は、振込依頼書により必ず <b>金融機関の窓口</b> から入金してください。ATMからは入金しないでください。 2 検定料納付証明書は検定料納付証明書貼付欄に貼り付けてください。 3 振込依頼書の「 <b>ご依頼人</b> 」欄は <b>受験生本人の氏名</b> で行なってください。 4 納付された入学検定料は還付しません。
調査書		1 出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 2 被災等により調査書の作成ができないときは、これに代わるべき機関による適宜の証明で調査書に代えることができます。
志願理由書	○	本学を志願した理由を具体的に書いてください。(自書)
推薦書	○	1 <b>出身学校長が作成し、厳封したもの</b> とします。 2 各高校において推薦できる人数は、作曲専攻(作曲)、作曲専攻(音楽学)、声楽専攻、器楽専攻(弦楽器)、器楽専攻(管打楽器)、それぞれ1名までとします。
各専攻(コース)別 出願書類		本紙3ページの【各専攻(コース)別出願書類等一覧】のとおりです。
音楽活動記録書	○	現在までの音楽活動について、本紙4ページの【各専攻(コース)別)音楽活動記録書記載要領】に従って詳細に書いてください。ページ数が2ページを超える場合は、音楽活動記録書の2枚目をコピーして使用してください。
受験票送付用封筒	○	(「受験票在中」と表示してある本学所定の長形3号封筒)志願者の住所・氏名・郵便番号を記入し、350円分の切手を貼付してください。
第1次選考試験 可否通知用封筒		長形3号の封筒を各自用意し、宛先欄に志願者の氏名、住所、郵便番号を記入の上、650円分の切手を貼り付け、「速達郵便」「簡易書留」と朱書きしてください。 (第1次選考可否通知の書類送付時に使用するので、確実に本人に届く住所を記入してください。)
学校長あて可否結 果通知用封筒		長型3号の封筒を各自用意し、宛先欄に出身学校の郵便番号・住所・学校名・学校長名を明記し、650円分の切手を貼り付け、「速達郵便」「簡易書留」と朱書きしてください。

## 【各専攻（コース）別出願書類等一覧】

専攻（コース）		出 願 書 類 等
作曲	作曲	<p>A 提出作品 3 曲 楽譜またはCDかDVD（CD-R, DVD-R等も含まます。）の音源にて提出する。ただし、少なくとも 1 作品は五線定量記譜法による楽譜であること。作品資料提出はコピー（A3 サイズ以下）とし、志願者の氏名、題名、制作年を明記、必要があれば補足説明等も付けてください。必ず本人の制作物であること。 （作品は後日返却しますので、返却返信用封筒を同封してください。）</p> <p>B 返却返信用封筒 1 作品の入る封筒に、「返却作品在中」と朱書きしてください。 2 返却方法は、郵便局のゆうパックとします。 ゆうパック用紙（料金着払い用）に以下を記入してください。 【お届け先】に、志願者の郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入。 【ご依頼主】に、同上と記入。 【品名】に、楽譜と記入。 3 【配達希望日】は、記入しないでください。 4 上記のゆうパック用紙を返却用封筒に貼付してください。</p>
	音楽学	<p>A 小論文（2,000 字～4,000 字程度） 本学で学び、研究したい事柄について、具体的に書いてください。本募集要項に付されている提出用表紙を貼り付けて提出してください。</p> <p>B 別添「音楽学提出用紙」（音楽の基礎的能力試験における楽器演奏用）に使用する楽器及び演奏曲目を記入し、提出してください。</p> <p>C 音楽活動記録書の特記事項として外国語能力を示す公的証明書がある場合、そのコピーを提出してください。</p>
声 楽		<p>A 演奏曲目の提出 演奏曲目については別添「声楽曲目提出用紙」に必要事項を記入し、提出してください。</p> <p>B 伴奏用楽譜の提出 伴奏用楽譜は 1 曲ごとに指定のとおり作成し、「提出楽譜表紙添付票」を貼って提出してください。</p>
器楽	弦楽器	<p>A 曲目の提出（ヴァイオリン、チェロ） 課題曲（b）・自由曲については別添「弦楽器提出用紙」に作曲者名、曲名を欧文で記入し、提出してください。</p> <p>B 楽器借用希望の提出（コントラバス） 別添「弦楽器提出用紙」に楽器借用希望の有無を回答のうえ、提出してください。 * ヴィオラ、ハープに関しては「弦楽器提出用紙」の提出は不要です。</p>
	管打楽器	

## 【各専攻（コース）別音楽活動記録書記載要領】

専攻（コース）		記 載 要 領
作曲	作曲	<ul style="list-style-type: none"> <li>作曲、和声、対位法、楽典、ソルフェージュ、楽器及び声楽等の学習歴について、使用した教科書、進度、課題実施の程度等を、師事した場合には、先生の氏名も含めて学習の概要が判るように記載してください。</li> <li>作曲作品について、タイトルと編成、演奏された場合には、演奏者名、演奏会場等を記載してください。</li> <li>音楽及び芸術関連の課外活動、コンピュータ音楽制作、演奏活動、受賞歴、出版、放送、留学経験、その他（音楽以外も含む）の特記事項がある場合にも積極的に記載してください。なお、複数メンバーによる活動の場合には、自身が担当した事項も記載してください。</li> </ul>
	音楽学	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽歴（演奏、創作等）とこれまでの音楽とのかかわりを詳細に記載してください。その他、外国語の学習歴、能力として特記事項（帰国子女等）があれば記載してください。英検（実用英語技能検定）、TOEIC テスト、仏検（実用フランス語技能検定試験）、独検（ドイツ語技能検定試験）等の外国語の能力を示す公的証明書を所持している場合、そのコピーを添付してください。</li> </ul>
声 楽		<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでに師事した声楽の先生の氏名を記載してください。</li> <li>学習した主な曲目を記載してください。</li> <li>受賞歴、演奏活動、部活動、またその他の特記事項がある場合には詳細に記載してください。</li> </ul>
器楽	弦楽器	<ul style="list-style-type: none"> <li>受験する楽器において これまでに師事した先生の氏名を記載してください。 今まで学習したエチュード、協奏曲、その他の楽曲も記載してください。</li> <li>受賞歴、留学経験、放送、特筆に値すると思われる演奏会等があれば、記載してください。（受験する楽器以外の事柄でも記載して構いません。）</li> </ul>
	管打楽器	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでに師事した先生の氏名を記載してください。</li> <li>学習した教則本、エチュード、楽曲を詳細に記載してください。</li> <li>受賞歴、資格、演奏活動、部活動等、特記事項がある場合には詳細に記載してください。</li> </ul>

### 記載事項の記入例

#### 学習

- 和声「和声 理論と実習」第一巻を習得。（三ヶ峯太郎先生の下、全課題を実習）
- ピアノをヤマカワ音楽教室（グループレッスン）にて習う。平成〇年まで
- 作曲を三ヶ峯太郎先生に師事。平成〇年まで
- ヴァイオリンを長久手次郎先生に師事。平成〇年まで
- 県立長岩高等学校音楽科（器楽）に入学。
- 「24のカプリース」（N. Paganini）を習得
- 日本ミュージック・サマースクールに参加。Longrock 氏の公開レッスンを受講。「シャコンヌ」（G. B. Vitali）

#### 作品・演奏

- 「〇△〇△〇」を作曲、演奏：長久手三郎、場所：長岩市民会館小ホール
- △△△△△作曲の「〇〇〇〇」を弦楽四重奏に編曲
- 長岩市ピアノ発表会にて「ピアノソナタ第11番」（W. A. Mozart）第一楽章を演奏
- 県立長岩高等学校音楽科発表会にて、イタリア歌曲3曲（編曲：三ヶ峯太郎）を演奏
- 「ヴァイオリン協奏曲第3番」（W. A. Mozart）を演奏、  
管弦楽：長岩市民管弦楽団、指揮：長久手次郎、場所：長岩市民会館大ホール

#### 受賞、出版、放送

- ピアノ作品作曲コンクール入賞、ピアノのための「ABC」
- 吹奏楽のための「いろは」がCDに収録される。（SOVI:12345）
- 東海三県中学生ヴァイオリン・コンクール入賞。「調和の幻想第3番」（A. L. Vivaldi）第一楽章
- 中部高校生音楽コンクール第1位「ヴァイオリン協奏曲第3番」（W. A. Mozart）
- 長岩FMの「〇〇クラシック」に出演、「アヴェ・マリア」（F. P. Schubert）を演奏

#### その他

- 私立長岩中学入学。音楽部に入部して合唱の伴奏を行なう。
- 長岩中学音楽部が合唱コンクールにて金賞を受賞。（伴奏者として出演）
- 県立長岩高等学校吹奏楽部にてHornを担当、木管五重奏でアンサンブル・コンクール（東海大会）に出演し金賞を受賞。
- 県立長岩高等学校生徒会長を務める。
- 英語検定2級取得。

**注意：** 記載事項の最終行に、「以上、記載事項に相違はありません。」と記入し、署名・捺印してください。

## 7 選抜方法

### 【各専攻（コース）別選抜方法】

#### 第1次選考試験

専攻（コース）		選 抜 方 法
作曲	作 曲	提出書類（音楽活動記録書、志願理由書、推薦書、調査書）及び提出作品3曲により審査を行なう。
	音楽学	提出書類（音楽活動記録書、志願理由書、推薦書、調査書、小論文）により審査を行なう。
声 楽		提出書類（音楽活動記録書、志願理由書、推薦書、調査書）により審査を行なう。
器楽	弦楽器	提出書類（音楽活動記録書、志願理由書、推薦書、調査書）により審査を行なう。
	管打楽器	提出書類（音楽活動記録書、志願理由書、推薦書、調査書）により審査を行なう。

#### 第2次選考試験（第1次選考試験合格者に限る。）

専攻（コース）		選 抜 方 法
作曲	作 曲	実技試験、口述試験による審査を行なう。 ・1日目（実技試験、口述試験） 器楽曲作曲 3時間 与えられたモチーフを使用し器楽曲を作曲する。 口述試験 提出した3作品と器楽曲作曲作品の解説を中心とした口述試験。
	音楽学	筆記試験及び口述試験、音楽の基礎的能力試験による審査を行なう。 ・1日目（筆記試験及び口述試験） 音楽学の基礎的能力試験 1時間 口述試験 提出した小論文に関する口述試験。 ・2日目（音楽の基礎的能力試験） 楽器演奏（注）、ソルフェージュ
声 楽		実技試験及び口述試験、音楽の基礎的能力試験による審査を行なう。 ・1日目（実技試験、口述試験） 自由曲（演奏時間6分程度、複数曲可） 口述試験 ・2日目（音楽の基礎的能力試験） ピアノ
器楽	弦楽器	実技試験及び口述試験、音楽の基礎的能力試験による審査を行なう。 ・1日目（実技試験、口述試験） 課題曲 自由曲（ヴァイオリン・チェロのみ） 口述試験 ・2日目（音楽の基礎的能力試験） ピアノ、ソルフェージュ、楽典
	管打楽器	実技試験及び口述試験、音楽の基礎的能力試験による審査を行なう。 ・1日目（実技試験、口述試験） 課題曲 口述試験 ・2日目（音楽の基礎的能力試験） ピアノ、ソルフェージュ、楽典

（注）任意の楽器による独奏（伴奏なし）で、ピアノ以外の楽器の場合は各自で用意すること。  
 自由曲1曲（時間の都合により演奏をカットする場合があります）。楽譜の使用可。

## 8 出願・受験上の諸注意

- (1) 出願書類に不備、記載もれがあるときは受理しません。
- (2) 訂正した箇所には、必ず訂正印を押してください。
- (3) 第2次選考当日、本学受験票を必ず持参してください。なお、受験票を忘れた者は、試験場に入れない場合もありますから注意してください。
- (4) 11月12日(土)までに本学受験票が到着しない場合は、学務課に照会してください。
- (5) 出願後、連絡先を変更したいときは、速やかに学務課まで書面（連絡先住所にフリガナをつけてください。）にて届け出てください。
- (6) 出願に際しての照会は、学務課まで電話又は郵便でしてください。ただし、郵便での照会には、必ず返信用封筒（連絡先住所、氏名、郵便番号を明記し、返信用切手80円分を貼ってください。）を同封してください。

## 9 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談について

本学に入学を志願する者で、障がい等を有する者等は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願前に、あらかじめ文書で本学に申し出てください。

- (1) 申し出の時期  
平成23年10月7日(金)まで
- (2) 申し出の方法  
各自で相談申請書を作成し、学務課まで申し出てください。記載内容は以下のとおりです。  
①志望学部・専攻 ②障がいの種類・程度 ③受験上の特別な配慮を希望する事項  
④修学上の特別な配慮を希望する事項 ⑤その他参考となる事項  
なお、申し出に基づき相談が必要となった場合は下記によります。
- (3) 相談の時期  
平成23年10月21日(金)まで
- (4) 相談の方法  
相談申請書に医師の診断書（身体障害者手帳を有する者はその写し）、担当教員等の所見書（高等学校等での学習状況・生活状況を記載）を添えて出身高等学校等を通じて提出してください。必要に応じ、本学において志願者との面談等を行ないます。

## 10 出願書類・相談申請書提出先及び受験に関する照会先

愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯 1-114（〒480-1194）  
愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 学務課 入試・広報係  
電話（0561）76-2603（直通）

照会時間は午前9時から午後5時まで

ただし、土・日曜日、祝祭日等大学事務局が休業となる日は除きます。

## 11 試験日程及び合格発表

### 第1次選考試験出願期間

出 願 期 間	備 考
平成23年 11月1日(火)～11月7日(月)	最終日の午後5時までに郵便で必着とします。

### 第1次選考試験合格者発表

年月日及び時間	場 所	備 考
平成23年 11月21日(月) 午前11時	本学管理棟で掲示します。(注)	合格者には、「第1次選考試験合格通知書」を、不合格者には、「第1次選考試験不合格通知書」を本人あてに送付します。

### 第2次選考試験 (第1次選考試験合格者に限る。)

専 攻 (コース)  年月日	作 曲		声 楽	器 楽	
	作 曲	音楽学		弦楽器	管打楽器
平成23年 11月26日 (土)	9:30～12:30 器楽曲作曲  13:30～ 口述試験	9:30～10:30 音楽学の 基礎的能力試験  11:00～ 口述試験	10:00～ 自由曲 口述試験	9:30～ 課題曲 自由曲 口述試験	9:30～ 課題曲 口述試験
平成23年 11月27日 (日)		9:30～ 音楽の 基礎的能力試験 (楽器演奏・ソル フェージュ)	9:30～ 音楽の 基礎的能力 試験 (ピアノ)	9:30～ 音楽の 基礎的能力 試験 (ピアノ・ ソルフェー ジュ・楽典)	9:30～ 音楽の 基礎的能力 試験 (ピアノ・ ソルフェー ジュ・楽典)

### 最終合格者発表

年月日及び時間	場 所	備 考
平成23年 12月12日(月) 午前11時	本学管理棟で掲示します。(注)	合格者には、入学許可通知書及び入学 手続要領を送付します。推薦学校長に は、合否結果を通知します。

(注) 電話等による合否に関する問い合わせには一切応じません。本学ホームページにて掲示内容の情報提供をしますが、掲示の補助手段として実施するものです。情報提供には万全を期しておりますが本学から送付する通知書及び学内の掲示をもって正式な通知といたしますので、ご了承ください。

ホームページアドレス <http://www.aichi-fam-u.ac.jp/>

## 12 入学手続

- (1) 手続日  
音楽学部 平成 23 年 12 月 23 日(金) 午前 9 時 30 分～午後 4 時
- (2) 場 所  
本学管理棟
- (3) 納入金

入学料	282,000 円
授業料(前期分)	267,900 円

ア 平成 24 年 4 月 1 日付で出願時の住所に授業料振込依頼書を送付します。

イ 入学料及び授業料は、愛知県公立大学法人授業料等徴収規程の定めるところによります。

ウ 平成 24 年度入学料または授業料は、改定されることがあります。

エ 納付された入学料及び授業料は還付しません。

オ その他入学時に要する経費がありますが、金額・納入方法については合格者に別途連絡します。
- (4) 入学料振込にあたってのお願い

ア 合格者は、本学所定の振込依頼書により入学料を納入し、所定の提出書類及び入学料の振込金受取書を持参の上、指定された期日に入学手続をしてください。

イ 入学料の納入は、**金融機関の窓口**から行ってください。ATMからは入金しないでください。

ウ 振込金依頼書の「**ご依頼人**」欄は**受験生本人の氏名**で行ってください。
- (5) 入学手続の諸注意

ア 入学手続を完了しない場合は、**入学を辞退**したものと取り扱います。

イ その他入学手続の詳細については、合格者に別途通知します。

ウ 外国人は、上記の他、在留資格を明記した外国人登録証明書又はこれに相当するものを入学手続き日までに提出してください。

エ 入学手続きをされた方については、氏名及び大学入試センターの受験番号に限って、合否及び入学手続き等に関する個人情報<sup>1</sup>が独立行政法人大学入試センター及び国公立大学に送達されます。

オ 1つの国公立大学(国際教養大学及び新潟県立大学を除く。以下同じ。)・学部<sup>2</sup>に入学手続を完了した者は、それ以降これを辞退して他の国公立大学・学部及び本学の他専攻に入学手続をすることができません。

カ やむを得ない事情で入学を辞退する者は、平成 23 年 12 月 23 日(金)までに学務課へ申し出てください。

## 13 推薦特別入試に不合格になった者の一般入試への再出願について

推薦特別入試に不合格になった者で、大学入試センター試験を受験した者は、本学又は他の国公立大学の個別学力検査を受験することができます。

## 14 入学検定料、入学料、授業料の免除制度について

### (1) 入学検定料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学検定料の全部が免除されることがあります。詳細については、下記の期限までに問合せてください。

- ア 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- イ 入学試験前 1 年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、入学検定料の納付が極めて困難になった者
- ウ 入学試験前 1 年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、入学検定料の納付が極めて困難になった者

問合せ期限	平成 23 年 10 月 21 日（金）
申請期限	入学試験出願期間開始日の 1 週間前まで

### (2) 入学料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学料の全部又は半額が免除されることがあります。詳細については、下記の期限までに問合せてください。

- ア 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- イ 入学前 1 年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、入学料の納付が極めて困難になった者
- ウ 入学前 1 年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、入学料の納付が極めて困難になった者

問合せ期限	平成 23 年 12 月 16 日（金）
-------	----------------------

### (3) 授業料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により授業料の一部若しくは全部について免除又は徴収延期となることがあります。詳細については、合格者に別途連絡します。

- ア 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- イ 申請期限前 1 年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、授業料の納付が極めて困難になった者
- ウ 申請期限前 1 年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、授業料の納付が極めて困難になった者
- エ 上記ア、イ、ウ以外で、経済的理由により授業料の納付が困難な者

### (4) 問合せ先

学務部学務課 教務・学生支援係 電話 0561-76-2847（直通）

## 15 入試情報

### 1. 評価基準

#### (1) 第1次選考試験

専攻 (コース)		試験科目	評価基準
作曲	作曲	書類審査 (提出作品を含む。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>作曲の基礎能力や資質、創造力、探究心、発想力等をみる。</li> <li>基礎的な学力をみる。</li> </ul>
	音楽学	書類審査 (小論文を含む。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽学の学習に必要な基礎的能力や、資質をみる。</li> <li>基礎的な学力をみる。</li> </ul>
声楽		書類審査	<ul style="list-style-type: none"> <li>声楽を研究する意欲をみる。</li> <li>基礎的な学力をみる。</li> </ul>
器楽	弦楽器	書類審査	<ul style="list-style-type: none"> <li>弦楽器を研究する意欲をみる。</li> <li>基礎的な学力をみる。</li> </ul>
	管打楽器	書類審査	<ul style="list-style-type: none"> <li>管打楽器を研究する意欲をみる。</li> <li>基礎的な学力をみる。</li> </ul>

#### (2) 第2次選考試験

専攻 (コース)		試験科目	評価基準
作曲	作曲	器楽曲作曲	作曲理論の基礎能力、構成力、発想力等をみる。
		口述試験	人物の志向性や作曲を研究する意欲と基礎的能力をみる。
	音楽学	音楽学の基礎的能力試験(英語力を試す出題を含む。) 口述試験	音楽学の学習に必要な基礎的能力をみる。
		音楽の基礎的能力試験	音楽の基礎的能力(楽器演奏・ソルフェージュ)をみる。
声楽	自由曲及び口述試験	声楽家としての資質、表現力をみる。	
	音楽の基礎的能力試験	音楽の基礎的能力(ピアノ)をみる。	
器楽	弦楽器	課題曲、自由曲及び口述試験	演奏家としての資質、技術、表現力をみる。
		音楽の基礎的能力試験	音楽の基礎的能力(ピアノ・ソルフェージュ・楽典)をみる。
	管打楽器	課題曲及び口述試験	演奏に際しての表現力、創造力、技術力、基礎的能力をみる。
		音楽の基礎的能力試験	音楽の基礎的能力(ピアノ・ソルフェージュ・楽典)をみる。

2. 点数配分

(1) 第1次選考試験 100点満点

専攻 (コース)		試験科目	配点
作曲	作曲	書類審査(提出作品を含む。)	100
	音楽学	書類審査(小論文を含む。)	
声楽		書類審査	
器楽	弦楽器	書類審査	
	管打楽器	書類審査	

(2) 第2次選考試験 1,000点満点

専攻 (コース)		試験科目	配点
作曲	作曲	器楽曲作曲	400
		口述試験(提出作品に関する口述を含む。)	600
			合計 1,000
作曲	音楽学	音楽学の基礎的能力試験(英語力を試す出題を含む。)	300
		口述試験(小論文に関する口述を含む。)	500
		音楽の基礎的能力試験	200
			合計 1,000
声楽		自由曲	800
		口述試験	100
		音楽の基礎的能力試験	100
			合計 1,000
器楽	弦楽器	課題曲及び自由曲	600
		口述試験	200
		音楽の基礎的能力試験	200
			合計 1,000
器楽	管打楽器	課題曲	700
		口述試験	100
		音楽の基礎的能力試験	200
			合計 1,000

### 3. 入試結果の開示

愛知県個人情報保護条例に基づき、本学推薦特別入試入学試験の結果については、口頭により受験者本人が自己の入試結果の開示を請求することができます。

- (1) 開示請求できる範囲
  - ・ 科目別得点
  - ・ 総合得点
  - ・ 総合得点による順位
- (2) 開示請求できる期間  
最終合格発表日から1ヶ月間 午前9時から午後5時まで  
ただし、土・日曜日、祝祭日等大学事務局が休業となる日は除きます。
- (3) 開示請求の受付を行う場所  
本学管理棟3階 管理課
- (4) 開示の方法  
本人部分のみ閲覧
- (5) 開示請求に必要な書類  
受験票のほか、運転免許証、旅券その他官公署の発行する証明書等の一つを持参してください。
- (6) 開示請求方法  
受験者本人が、口頭で本学管理課に申し出てください。
- (7) その他  
電話による問い合わせには応じません。また、郵送による結果の開示は行いません。

## **第2次選考試験 音楽の基礎的能力試験**

音楽の基礎的能力試験（ピアノ、楽器演奏、楽典、ソルフェージュ）を課します。

### **ピアノ**

声楽専攻、器楽専攻（弦楽器、管打楽器）の志願者に課します。

C. Czerny（チェルニー）30番練習曲集、40番練習曲集、50番練習曲集より任意の1曲を選択し、繰り返しなし、暗譜で演奏してください。

時間の都合により、演奏をカットする場合があります。

### **楽器演奏**

作曲専攻（音楽学）の志願者に課します。

任意の楽器による独奏（無伴奏）で、ピアノ以外の楽器の場合は各自で用意すること。

自由曲1曲を演奏してください。時間の都合により演奏をカットする場合があります。

楽譜の使用可。

### **楽典**

器楽専攻（弦楽器、管打楽器）の志願者に課します。所要時間は40分程度。

音楽の学習に必要な基礎知識一般（音程、和音判別及び所属調等）

なお、平成25年度入試からは作曲専攻（音楽学）の志望者にも課します。

### **ソルフェージュ**

作曲専攻（音楽学）、器楽専攻（弦楽器、管打楽器）の志願者に課します。

新曲視唱

歌詞を伴わない初見視唱1題

聴音

単旋律課題1題

なお、平成25年度入試からは器楽専攻（弦楽器）の志望者には、4声体和声課題1題も課します。

## 第2次選考試験 課題曲 等

### 1. 声楽専攻

演奏時間6分程度の自由曲（任意の曲）

- (1) 演奏曲目は複数になっても構いませんが、演奏時間の合計が6分程度になるようにしてください。
- (2) 暗譜で演奏してください。
- (3) アリアは原則として、原調、原語で演奏してください。
- (4) 演奏部分を当日指定することがあります。
- (5) 時間の都合により演奏をカットする場合があります。
- (6) 伴奏者は本学で用意します。

### 2. 器楽専攻（弦楽器コース）

器楽専攻（弦楽器）共通事項

- (1) 繰り返しなしで暗譜にて演奏してください。
- (2) 課題曲・自由曲ともに、伴奏なしで演奏してください。
- (3) 時間の都合により演奏をカットする場合があります。
- (4) ヴァイオリンの課題曲（b）及び自由曲、チェロの自由曲については弦楽器提出用紙に作曲者名、曲名を欧文で記入してください。
- (5) コントラバスの受験者は、弦楽器提出用紙の楽器借用希望欄の希望の有無に○を付けてください。
- (6) ハープの受験者は、本学で用意した楽器で演奏してください。楽器の持込は不可。

### ヴァイオリン

#### (1) 課題曲

- (a) Carl Flesch : Scale System より E-dur  
No. 5 全部、No. 6（1～4小節）、No. 7（1～4小節）、No. 8（1～4小節）  
スラーは、No. 5 は C-dur に準じ、重音は4分音符単位とします。  
リズムは C-dur に準じます。
- (b) P. Gaviniès : 24 Etudes より  
7, 17, 21 番から任意の1曲。
- (c) 下記2曲のうち1曲を選択して演奏してください。  
J. S. Bach : Partita für Violine solo Nr. 1 BWV1002 より Allemanda  
（Double は含まない。）  
J. S. Bach : Sonate für Violine solo Nr. 2 BWV1003 より Grave

#### (2) 自由曲

古典派以降の任意のヴァイオリン協奏曲の第1楽章を演奏してください。  
カデンツァを含みます。ただし、次の3曲はカデンツァの前までとします。

- A. Glazunov : Konzert a-moll op. 82  
N. Paganini : Konzert D-dur Nr. 1 op. 6

## ヴィオラ

- (1) 課題曲
  - (a) Carl Flesch : Scale System より G-dur  
No. 5 全部 リズムとスラーは、C-dur に準じます。
  - (b) Campagnoli : 41 Caprices より No. 2 (版の指定はしない。)
  - (c) J. S. Bach : Suite für Violoncello solo Nr. 3 BWV1009 より Allemande
  - (d) F. Hoffmeister : Konzert D-dur 第1楽章 (カデンツァを含みます。)
- (2) 自由曲はありません。

## チェロ

- (1) 課題曲
  - (a) J. Loeb : Gammes et arpèges より Es-dur
    - イ) 4 オクターブの音階
    - ロ) 4 オクターブの分散3度
    - ハ) 4 オクターブのアルペッジョスラーは、イ)、ロ) は4つずつ、ハ) は3つずつとします。
  - (b) J. L. Duport : Studies for Cello より No. 11
- (2) 自由曲  
古典派以降の任意のチェロ協奏曲の第1楽章を演奏してください。  
カデンツァを含みます。

## コントラバス

- (1) 課題曲 (a)、(b) 共にオーケストラチューニングで演奏してください。
  - (a) Otto Rühm : Progressive Etüden 第2巻 より Nr. 31
  - (b) V. Pichl : Konzert D-dur より第1楽章 (Hofmeister 版)  
オーケストラチューニング C-dur で演奏、カデンツァは含みません。
- (2) 自由曲はありません。

## ハープ

- (1) 課題曲
  - (a) N.-C. Bochsa : Célèbres Études pour la Harpe  
Cinquante Etudes 1<sup>er</sup> Livre より No. 20
  - (b) John Parry : Sonata in D major 全楽章
- (2) 自由曲はありません。

### 3. 器楽専攻（管打楽器コース）

伴奏者は本学で用意します。

#### フルート

- (1) J. Andersen : 24 Etudes Op. 21 より  
No. 6, 11, 16, 20, 23, 24 から当日指定します。
  - (2) 下記の 2 曲から当日指定します。  
G. Fauré : Fantaisie Op. 79  
F. Kuhlau : Introduction et Rondo
- (1)、(2)いずれも版の指定はしない。楽譜を見ても良い。

#### オーボエ

下記より当日指定します。

- (1) W. Ferling : 48 Etudes より No. 1～18  
L. Wiedemann : 45 Etudes より No. 12, 13, 16, 28
  - (2) G. Ph. Telemann : 無伴奏フルートのための 12 のファンタジーより No. 2, 3, 6
- (1)、(2)いずれも版の指定はしない。

#### クラリネット

- (1) Cavallini : 30 capricci (Ricordi 版) より  
No. 16, 17, 22, 24, 26, 28 から当日指定します。
- (2) Weber : Konzert für Klarinette und Orchester Nr. 1 f-moll op. 73 より  
第 1 楽章（版の指定なし）
- (3) Messenger : Solo de concours (Leduc 版)

#### バスーン（ファゴット）

- (1) J. Weissenborn : Bassoon Studies for advanced pupils Op. 8 vol. 2（版の指定なし）  
より No. 20, 21, 23, 29 の中から 2 曲を当日指定します。
- (2) G. Ph. Telemann : Sonata in f minor I・II 楽章（版の指定なし）

## サクソフォーン

### (1) 音階

譜例の形の音階を各調（♭は6つ、♯は5つまで）より当日指定します。

- ・ テンポは四分音符=ca. 100 とします。
- ・ アーティキュレーションは、当日指定します。
- ・ 暗譜で演奏してください。

### 譜面



### (2) Ferling : 48 Etudes より

No. 13, 14, 15, 16, 17, 18, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 35, 36 の中から当日指定します。

(版の指定なし)

### (3) A. Glazounov : Concerto en Mi ♭ Op. 109 より

冒頭から練習番号 16 まで演奏してください。

## ホルン

W. A. Mozart : Konzert für Horn Nr. 4 (Breitkopf 版) より第 1 楽章 カデンツァ無し

## トランペット

Théo Charlier : Solo de Concours (Schott 版)

## トロンボーン

E. Bozza : Ballade Op. 62 (Leduc 版)

## バストロンボーン

E. Bozza : New Orleans (Leduc 版)

## ユーフォニアム

J. Horowitz : Euphonium Concerto (Novello 版) より第 1 楽章

## テューバ

W. Hartley : Suite (Theodore Presser Company 版) より当日指定します。

## 打楽器

課題 (1)、(2)のどちらかを選択してください。

(1)

スネアドラム

- ・ 楽譜「A」を響き線なしで演奏してください。
- ・ W.F.Ludwig : Collection Drum Solos (Ludwig Drum 版)  
Dixie (9 ページ)、Three Camps (16 ページ)、Dinner Call (17 ページ)、  
Rambling Ratamacues (18 ページ) より当日指定します。  
すべて繰り返しあり、響き線ありで演奏してください。
- ・ Portraits in Rhythm (Alfred 版)  
13 番 繰り返しあり、響き線ありで演奏してください。

マリンバ

- ・ 音階 全ての長調、短調より当日指定します。  
(3 オクターヴ、往復。短調は1回目と声短音階、2回目旋律短音階。楽譜「B」参照)
- ・ Clair Omar Musser : Etude in C Op.6 No.10 (Studio 4 Productions 版)

(2)

スネアドラム

- ・ W.F.Ludwig : Collection Drum Solos (Ludwig Drum 版)  
Dixie (9 ページ)、Three Camps (16 ページ)、Dinner Call (17 ページ)、  
Rambling Ratamacues (18 ページ) より当日指定します。  
すべて繰り返しあり、響き線ありで演奏してください。

マリンバ

- ・ 音階 全ての長調、短調より当日指定します。  
(3 オクターヴ、往復。短調は1回目と声短音階、2回目旋律短音階。楽譜「B」参照)
- ・ Gordon Stout : Two Mexican Dances for Marimba (Studio 4 Productions 版)  
No.1,2 より当日指定します。

留意事項 : スネアドラムおよびスネアドラムスタンドは各自持参し、立奏で演奏してください。

マリンバは本学の楽器を使用してください。

# 「A」

Snare off

♩=80

*f*

L R L R L R

L R L R L R L R L R L R

L R L R L R L R L R L R L R L R

*tr*

*fff* *p* *fff*

# 「B」

Marimba

♩=120

♩=120

受験番号 \_\_\_\_\_

次の譜例 (Schumann, Novelletten Op.21 No.2、43 小節目～) をみて、以下の各問いに答えよ。

(Äusserst rasch und mit Bravour.)

1. この楽譜には調号が欠けている。各段頭にある    内に適切な調号を書き入れよ (すべて同じ調号となる)。

以下の問題はすべて、正しい調号が記入されていることを前提とする。

2. (1)～(10) に示されている音程を答えよ。(例：短3度、等。)

- (1) \_\_\_\_\_ 度    (2) \_\_\_\_\_ 度    (3) \_\_\_\_\_ 度    (4) \_\_\_\_\_ 度  
 (5) \_\_\_\_\_ 度    (6) \_\_\_\_\_ 度    (7) \_\_\_\_\_ 度    (8) \_\_\_\_\_ 度  
 (9) \_\_\_\_\_ 度    (10) \_\_\_\_\_ 度

3. (1)～(10) の音程のうち、転回音程の関係に当たるものをすべて答えよ ((x) と (y) というように、番号で答えること。なお音程はすべて単音程に直して考えよ)。

\_\_\_\_\_

受験番号 \_\_\_\_\_

4. (1)～(10)の音程のうち、異名同音程(例えば増1度と短2度のような音程)の関係に当たるものをすべて答えよ((x)と(y)のように、番号で答えること。なお音程はすべて単音程に直して考えよ)。

\_\_\_\_\_

5. **A～G**に示されている各和音の種類(例:長三和音、等)とその転回形(第1転回形、等)を答えよ。

和音の種類	転回形
A _____ 和音	_____
B _____ 和音	_____
C _____ 和音	_____
D _____ 和音	_____
E _____ 和音	_____
F _____ 和音	_____
G _____ 和音	_____

6. **イ**と**ロ**の部分の調性を日本語で答えよ。

**イ** \_\_\_\_\_

**ロ** \_\_\_\_\_

(問題終わり)

# 愛知県立芸術大学音楽学部平成23年度 推薦特別入試

## 聴音（旋律）

（主音及び主和音を与える。テンポの指示は無し。20秒間隔で、通奏1回の後、4小節ごとに4回の演奏を行う。4回目は次の4小節を続けて演奏し、最後に通奏を1回行う。演奏終了後1分間の時間を与える。）

## 旋律

The melody exercise consists of three staves of music in 3/4 time with a key signature of one sharp (F#). The first staff contains 4 measures. The second staff contains 4 measures, with a triplet of eighth notes in the third measure. The third staff contains 4 measures, also with a triplet of eighth notes in the third measure. The piece ends with a double bar line.

## 新曲視唱

（予見時間は1分30秒。主和音及び開始音を与える。）

## A

Moderato

Exercise A is in 6/8 time with a key signature of two flats (Bb). It consists of three staves of music. The first staff starts with a mezzo-piano (*mp*) dynamic. The second staff includes a *poco a poco cresc.* instruction and ends with a forte (*f*) dynamic. The third staff includes a *poco a poco dim.* instruction and ends with a piano (*p*) dynamic. The piece concludes with a double bar line.

## B

Moderato

Exercise B is in 6/8 time with a key signature of two flats (Bb). It consists of three staves of music. The first staff starts with a mezzo-piano (*mp*) dynamic. The second staff includes a *poco a poco cresc.* instruction and ends with a forte (*f*) dynamic. The third staff includes a *poco a poco dim.* instruction and ends with a piano (*p*) dynamic. The piece concludes with a double bar line.

【平成 23 年度推薦特別入試】

作曲専攻（音楽学）

—音楽学の基礎的能力試験—

以下の文章（英文）は 18 世紀末から 19 世紀初めにかけてのウィーンの音楽状況について、私的なコンサート、公開コンサート、音楽ビジネス、そして音楽家等の観点から述べたものです。

その概要を日本語でまとめた上で、現在の日本の音楽状況と比較して論じてください。固有名詞は欧文表記のままで記述してください。

英文は、本学管理棟 2 階 学務課において閲覧できます。

閲覧期間 平成 23 年 8 月 1 日（月）から 8 月 31 日（水）までの  
土・日曜日と 8 月 15 日（月）、8 月 16 日（火）を除いた日

閲覧時間 午前 9 時から午後 4 時まで

# 入学願書記入例

(記入例は器楽専攻弦楽器コース)

・記入しない。

・貼付しない。

・ Y を記入する。

※

平成24年度 愛知県立芸術大学入学願書

センター試験成績請求票  
貼付欄

試験区分	Y	G 一般入試
		W 社会人特別入試 美術
		Z 自己推薦特別入試 美術
		Y 推薦特別入試 音楽
試験場コード		
センター試験受験番号		
発行回数		

・該当する数字を記入する。

美術学部	<input type="checkbox"/>	〈美術科〉	1 日本画	2 油画	
	<input type="checkbox"/>	3 彫刻	4 芸術学		
音楽学部	<input checked="" type="checkbox"/>	1 作曲 (作曲)	2 作曲 (音楽学)		
	<input type="checkbox"/>	3 声楽 (女声)	4 声楽 (男声)		
	<input type="checkbox"/>	5 器楽 (ピアノ)	6 器楽 (弦楽器)		
	<input type="checkbox"/>	7 器楽 (管打楽器)			
		(音楽学コース)	11 英語	12 独語	13 仏語
		(器楽)	21 ヴァイオリン	31 フルート	
		22 ヴイオラ	32 オーボエ		
		23 チェロ	33 クラリネット		
		24 コントラバス	34 バスーン(ファゴット)		
		25 ハープ	35 サクソフォーン		
			36 ホルン		
			37 トランペット		
			38 トロンボーン		
			39 パストロンボーン		
			40 ユーフォニアム		
			41 テューバ		
			42 打楽器		

高等学校コード	12345A	課程	1	1: 全日制 2: 定時制 3: 通信制	1: 昭和 2: 平成	卒業(見込)年月	2 24 年 03 月
学校名: 愛知県立岩作高等学校							

氏名	アイチ	ハナコ	性別	2	1: 男 2: 女	生年月日	2 06 年 01 月 08 日
	愛知	花子					

住所	〒	4801194	TEL	0561621180	緊急時の連絡先 TEL( ) -		
	愛知県愛知郡長久手町大字岩作						
	字三ヶ峯1-1-4 三ヶ峯コーポ1-201						

切りはなさないでください

②④ 平成24年度 愛知県立芸術大学 受験票

※ 受験番号	
ふりがな	あいち はなこ
氏名	愛知 花子
志望学部	音楽 学部
専攻	器楽 専攻
区分	(ヴァイオリン)

②④ 入学検定料納付証明書貼付欄

※ 受験番号	
ふりがな	あいち はなこ
氏名	愛知 花子

1 検定料納付証明書を、この欄に貼り付けること。  
2 入学検定料は必ず金融機関の窓口から入金すること。  
ATMからは入金しないでください。

②④ 平成24年度 愛知県立芸術大学 受験者写真票

※ 受験番号	
ふりがな	あいち はなこ
氏名	愛知 花子
志望学部	音楽 学部
専攻	器楽 専攻
区分	(ヴァイオリン)

写真貼付欄 (4cm×3cm)  
正面、上半身、脱帽出願前3ヶ月以内に撮影したものをこの枠内に正しく貼ること。  
受験票と同一の写真を貼ること。

②④ 平成24年度 愛知県立芸術大学 受験者写真票

※ 受験番号	
ふりがな	あいち はなこ
氏名	愛知 花子
志望学部	音楽 学部
専攻	器楽 専攻
区分	(ヴァイオリン)

(注) ※印欄は、記入しないこと。

・ 都道府県から記入する。その際、文字と半濁点をあわせて一枠で記入する。

・ 記入しない。

## 入学願書等記入上の注意

- 1 願書はコンピュータ処理をしますので、折り曲げたり汚したりしないでください。
- 2 必ず黒のボールペンを使用してください。
- 3 楷書で丁寧に枠内へ記入してください。（絶対に枠外へはみ出さないでください。）
- 4 氏名欄の小さい枠は文字1枠、濁点及び半濁点1枠で記入してください。氏名欄の大きい枠及びその他の枠は、文字と濁点及び半濁点をあわせて1枠で記入してください。

1
0
-
1
ダ
イ
ガ
ク
タ
ゝ
イ
カ
ゝ
ク

- 5 記入ミスをしたときは、

0
1
3
2

2
3

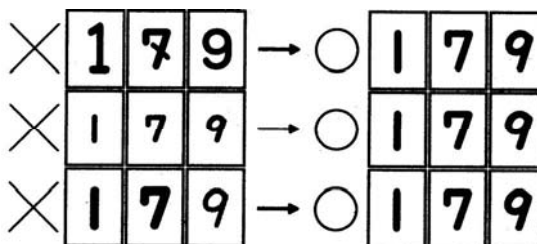
誤記した文字に二重線を引き、その上の空欄に正しい文字等を記入してください。

- 6 記入例

0
1
2
3
4
5
6
7
8
9

次の点には、注意してください。

- ・ 文字に飾りをつけない
- ・ 適度な大きさで
- ・ 濃すぎず薄すぎず



文字記入例	
英字	ABCDEFGHIJKLM NōPQRSTUvwXYZ
数字	0123456789
カナ	アイウエオカキクケコサシス セソタチツテトナニヌネノハ ヒフヘホマミムメモヤユヨラ リルレロワン°ゝ

## 各項目の記入方法等

### 入学願書

- 1 左上の□□□□□□□は、何も記入しないでください。
- 2 試験区分欄  
受験する試験区分上にあるYを、□の中へ記入してください。
- 3 試験場コード欄  
センター試験受験番号欄  
発行回数欄  
以上については、何も記入しないでください。

4 センター試験成績請求票貼付欄

**センター試験は課さないのので、貼付する必要はありません。**

5 美術学部・音楽学部欄

美術学部欄の□は空欄のまま記入しないでください。

音楽学部欄の□に専攻の前の数字を記入してください。

また、作曲専攻（音楽学）を希望する者は、受験する語学の前の**数字**を記入してください。

器楽専攻（弦楽器・管打楽器）を希望する者は、楽器種別の前の**数字**を記入してください。

6 高等学校等コード欄

(1) □□□□□□に高等学校等のコード番号と高等学校名を記入してください。（高等学校名は、国立〇〇高等学校、〇〇県立〇〇高等学校又は私立〇〇高等学校等と記入してください。）

(2) 課程の□に1、2、3のいずれかを記入してください。

7 卒業（見込）年月欄

記入例どおり記入してください。

【例】

1: 昭和 2: 平成	卒業(見込)年月
2	24年03月

8 氏名欄

(1) 上段の小さい枠の□にはカタカナで、下段の大きい枠の□には漢字で記入し、性別横の□に男性は1、女性は2を記入してください。

(2) 上段の小さい枠は、文字1枠、濁点及び半濁点1枠で記入し、下段の大きい枠は、文字と濁点及び半濁点をあわせて1枠で記入してください。

(3) **姓と名の間は1枠あけて**記入してください。

注1：日本国内に居住し、氏名を漢字で表記する外国人で、通称名を用いている場合はその通称名を記入してください。以下、氏名記入欄は、同様の方法で記入してください。

注2：氏名を漢字以外で表記している外国人は、ファミリーネーム（姓）を先に、ファーストネーム（名）を後にし、ミドルネームは省略して、ローマン・アルファベットを用いて大文字・活字体で記入してください。また、ファミリーネームの次に、「,」（カンマ）を記入してください。

9 生年月日欄

(1) 一番左の□に年号を示す数字の1又は2を記入してください。

(2) 年月日は、それぞれ2桁の数字で記入してください。

（1桁の場合は、0を先に記入してください。）

(3) 年は、西暦で記入せず、和暦で記入してください。

記入にあたっては、次の例を参考に年月日を記入してください。

【例】平成6年1月8日生まれの場合

1: 昭和 2: 平成	生年月日
2	06年01月08日

## 10 住所欄

郵便番号、電話番号及び住所を口内に1字ずつ記入してください。

なお、郵便番号及び電話番号は、ハイフンを使用せず数字のみ記入し、住所の丁目、番地、号はハイフンを使用してください。また、電話番号は左詰めで記入してください。

また、050で始まるIP電話番号は記入しないでください。

- (1) 緊急時の連絡先は、緊急に連絡する場合の連絡先が左の連絡先電話番号と異なる場合のみ記入してください。同一の場合は何も記入しないでください。
- (2) 住所は、確実に連絡を受けられる住所を都道府県から記入してください。また、団地・マンション等に居住している者は、棟番号・戸番まで必ず記入し、下宿の場合は、〇〇方と記入してください。

なお、住所の変更があった場合は速やかに郵便で愛知県立芸術大学学務課へ送付してください。

## 受験票及び受験者写真票

- 1 氏名、ふりがな、志望学部、専攻（作曲、声楽、器楽のいずれか）を記入してください。
- 2 区分欄（ ）へは、作曲専攻志望者は作曲、音楽学のいずれかを、声楽専攻志望者は声種別（ソプラノ、メゾソプラノ、アルト等）を、器楽専攻志望者は楽器種別を記入してください。
- 3 出願前3ヶ月以内に撮影した写真（正面・上半身・脱帽・縦4cm×横3cm）を所定の位置に貼ってください。

## 入学検定料納付証明書貼付票

氏名、ふりがなを記入し、入学検定料納付証明書を貼付欄内にのり付けしてください。

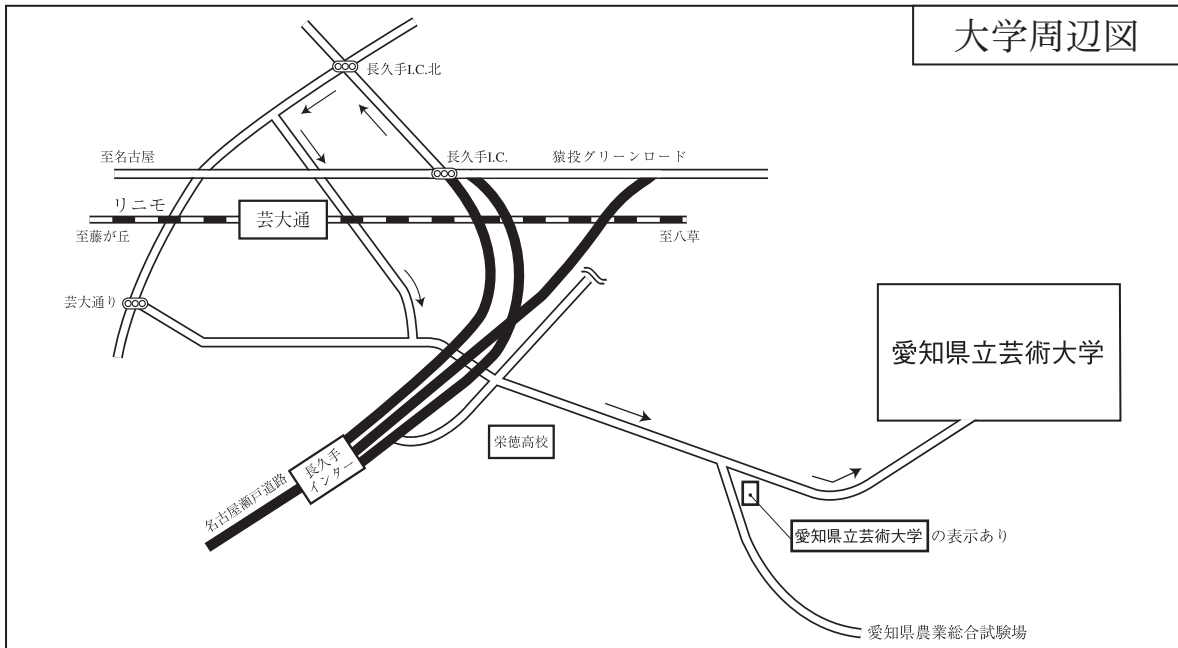
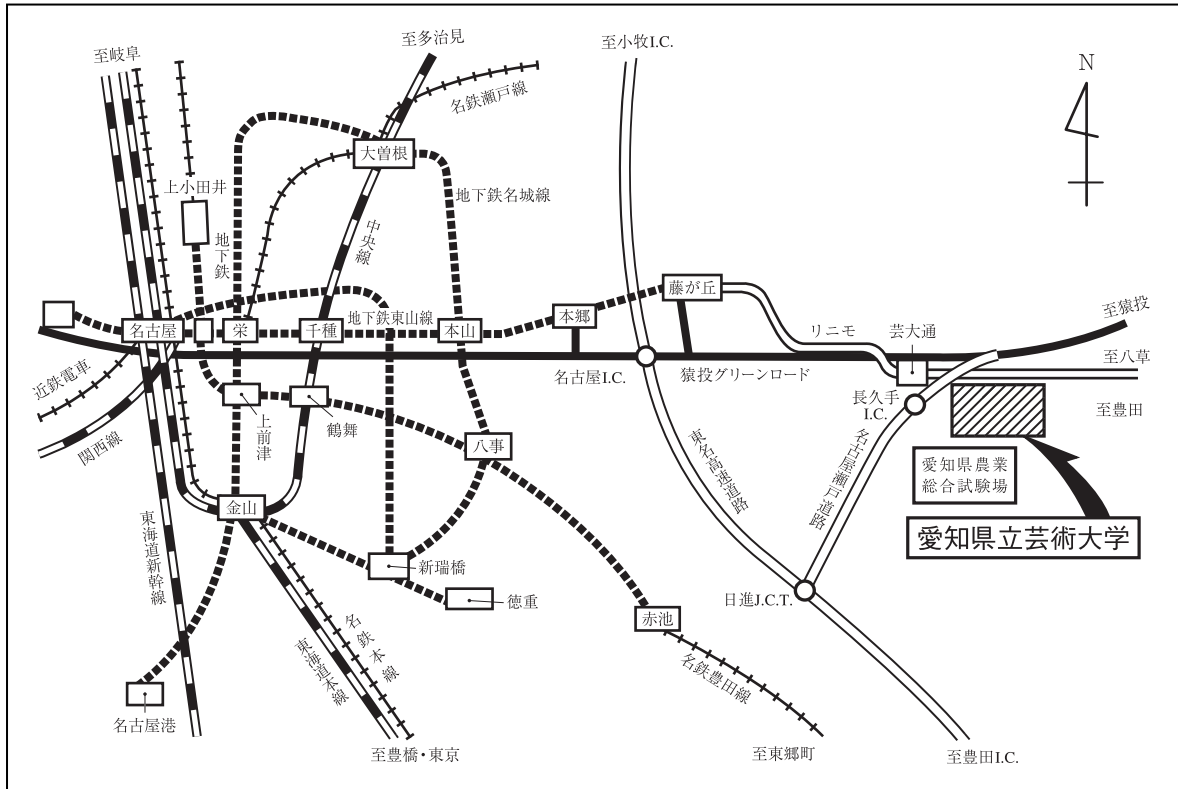
### **振込にあたってのお願い**

- ・ 振込用紙により、全国の金融機関（普通銀行、信託銀行、商工組合中央金庫、信用金庫、信用組合、労働金庫、信用農業協同組合連合会、農業協同組合、信用漁業協同組合連合会及び漁業協同組合の各店舗）の窓口で、お振込みください。  
ATM（現金自動預払機）は、利用しないでください。
- ・ 振込手数料は、各自ご負担ください。
- ・ 郵便局及びコンビニでは、納付できませんのでご了解ください。
- ・ この振込用紙は、機械で処理しますので、汚したり、曲げたりしないでください。  
また、振込依頼書・受取書・検定料納付証明書は、ミシン線で切り離さないでください。
- ・ 本人確認法(注)の改正により、平成19年1月4日以降、金融機関の窓口では現金で10万円を超える振込を行なう場合、本人確認のできる書類（運転免許証、健康保険証など）の提示を求められる場合がありますので、ご注意ください。

(注)金融機関等による顧客等の本人確認及び預金口座等の不正な利用の防止に関する法律

- ・ 記入例を参考に振込用紙の太線枠内に必要事項を記入してください。
- ・ 検定料納付証明書は検定料納付証明書貼付欄に貼り付けてください。

# 所在地案内図



## ■名古屋方面から

市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分。  
 もしくは市営地下鉄東山線「本郷」駅または「藤が丘」駅からタクシーで約15分。

## ■豊田・瀬戸方面から

愛知環状鉄道「八草」駅下車、東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分。



学生募集要項  
**推薦特別入試**

愛知県公立大学法人  
愛知県立芸術大学 学務課

〒480-1194

愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯1-114

TEL 0561-76-2603 (入試・広報係直通)